

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月23日(木)

事務事業	高齢者福祉施設管理運営事業			担当課	長寿福祉課	担当係	福祉青少年活動複合施設もくせい館	管理番号	3341
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市老人福祉センター条例、深谷市高齢者福祉青少年活動複合施設もくせい館条例、深谷市老人福祉センター等送迎用バス使用規程				
	小項目	2	高齢者福祉の推進						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要	高齢者等の健康増進や生きがいがづくりを推進するため、老人福祉センター等施設（福寿荘、もくせい館）の適正な維持管理及び貸館業務を行うことにより、安全で利用しやすい継続的な施設利用を提供するものである。また、各施設利用者の利便性の向上と利用を促進するため、市内の高齢者団体等を対象にバス送迎を行っている。								
目的 ※何のために	高齢者等の健康増進や生きがいがづくりを推進する。								
対象 ※誰・何を対象に	高齢者及び青少年 施設利用者								
手段 ※どのように	適正な施設（車両）の維持管理及び貸館業務を行う。								
成果 ※何を求めるか	安全で利用しやすい継続的な施設利用を提供し、施設の利用を促進する。								
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業	区分	款	項	目	細事業名			前年度決算額（円）	
	一般会計	3	民生費	4	老人福祉費	3	老人福祉センター総務費	もくせい館管理運営事業	29,537,826
	一般会計	3	民生費	4	老人福祉費	3	老人福祉センター総務費	老人福祉センター送迎バス事業	
	一般会計	3	民生費	4	老人福祉費	3	老人福祉センター総務費	老人福祉センター管理運営事業	10,233,778
	一般会計	3	民生費	4	老人福祉費	3	老人福祉センター総務費	老人福祉センター管理運営事業	82,907,000
本事業の 主な業務	・老人福祉センター等施設管理業務委託契約				・				
	・老人福祉センター等施設維持管理				・				
	・老人福祉センター等送迎バス業務委託契約				・				
	・				・				
	・				・				

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
年度別計画								
事業費	予算（現額）	79,810,000	80,762,040	132,980,000	52,448,000	138,750,000	30,806,000	
	決算額	78,683,100	77,355,423	118,927,244	39,417,225	122,678,604	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	1,192,000	175,000	0
		県支出金	0	0	3,600,000	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	9,418,252	9,094,748	45,718,662	783,602	83,662,937	1,792,000
一般財源		69,264,848	68,260,675	69,608,582	37,441,623	38,840,667	29,014,000	
人件費	従事職員数（人）	2.30	2.00	1.70	1.70	1.45	0.38	
人件費相当試算※	17,891,700	15,564,000	13,363,700	13,831,200	11,254,777	3,089,912		
総事業費試算	96,574,800	92,919,423	132,290,944	53,248,425	133,933,381	33,895,912		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
活動指標 1	施設の合計開館日数	目標値	日						
		実績値						383	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		開館日数に目標はないため、目標値は設定しない。						
活動指標 2	施設修繕実施件数	目標値	件						
		実績値		35	51	69	39	7	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		修繕実施件数に目標はないため、目標値は設定しない。 / 実施件数（全施設）						
成果指標 1	老人福祉センター利用者数	目標値	千人	113	103.79	94.31	70.76	0	0
		実績値		103.79	94.31	70.76	19.23	27.33	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度の利用者数を目標値とする。 / 利用者数（2施設）						
成果指標 2	送迎バス利用者数	目標値	人	2000	1181	1171	809	0	0
		実績値		1181	1171	809	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度の利用者数を目標とする。 / 利用者数						
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	開館日数は、もくせい館246日、福寿荘は浴場改修工事の休館もあり137日開館した。 修繕実施回数は、もくせい館が4件、福寿荘が3件、計7件実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	施設利用者は、福寿荘浴場改修工事による休館や新型コロナウイルス感染症拡大予防による登録団体の活動自粛の影響も少なくなり、前年度と比較して8,100人増加した。 また、団体利用がなかったため、送迎バス利用者は0人だった。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	各施設とも、業務委託先と連携し、開館時には感染予防対策を講じ、適正な施設管理により、利用者に安全・安心な施設サービスを提供することができた。 今後も引き続き、適正な施設管理及び各種サービスの提供に努めている。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	高齢者福祉施設管理運営事業	担当課	長寿福祉課	担当係	福祉青少年活動総合施設もくほい館	管理番号	3341		
<input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		<input type="checkbox"/> 委託化等の検討 <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善 <input type="checkbox"/> 効率化のための改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小 <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合		評価の内容説明 開館時には感染予防対策を講じ、適正な施設管理により、利用者に安全・安心な施設サービスを提供することができた。今後も引き続き、適正な施設管理及び各種サービスの提供に努める。				評価者 長寿福祉課長 笠原正	
上記を実施するための具体的な取組内容は？									

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

